



【今週の暗唱聖句】 I ペテロ 1:24-25

人はみな草のようだ。草はしおれ、花は散る。

しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。

●クリスチャンは、今から二千年も前に書かれた新約聖書、更に古い時代に書かれた旧約聖書を日々読み、毎週礼拝で朗読されるのを聞いてその解説を聞く。その内容は常に、福音、グッド・ニュースであり、人の目を明るくし、悟りを与える。悔改めを促し、慰めと励ましが与えられる。読めば読むほど、いよいよ深く、広くなるのが神のことばである。

●それに比べ、私たちがニュースと呼び、テレビ、新聞、インターネットで見たり、聞いたりするも

のはなんと同じことの繰り返しだろうか。人間は古代よりこの方、同じ罪の問題に同じようにさいなまれてきた。ニュースには新しいことは何もない。もはやニュースと呼ばず、オールドズ、と読んだ方がよいくらいである。

●新しい一年の質は、私たちがどれほど神の言葉に自らを投資していくかにかかっていると言っても過言でない。人間は常に何らかの言葉によって動いている。それが神の言葉なのか、否か。そこに私たちのチャレンジがある！

【1月の聖書朗読箇所と主題の説明】

聖書を読む

●電話の向こうの人の姿は通常見ることができないが、言葉を通し、交わることができるのと同じように、私たちは神とも交わることができるのである。私たちは、神からの語りかけを聖書から受ける。真摯に御言葉に取り組む時、聖霊が私たちを励まし、理解を促し、忘れていた所も思い起こさせてくださる。だから先ず、一日のはじめに私たちはひざまずき、聖霊に助けを求め、御言葉を開こう。監督やキャプテンとの作戦会議抜きに、プレーヤーは勝手にフィールドにでない。同じように、私たちも主の前で一日を思い巡らし備えよう。

●さらに私たちも電話の向こうの相手に話すように、神に語りかける。これが祈りである。私たちは神の子供という特権に預かっている。どんなことを語りかけてもよい。しかし神の語られたことに答えていくようにするなら、徐々に「神との会話」が成立するようになることをあなたは必ず経験するであろう。以下1月のスケジュール

1 / 3 書き記された神のことば エレミヤ36章

1 / 10 みことばを聞く マタイ13:1-23

1 / 17 熱心に調べる 使徒17:1-12、ヨシュア1:8

1 / 24 聖書に親しむ 使徒16:1-5、Ⅱテモテ1:1-5、3:14-17

1 / 31 みことばに従う 申命記5～6章

【先週のメッセージより】

見えない神の御手を 信じて生きる

第二列王記6:8～23

●神を恐れ、神に従う者たちの回りを目に見えない天使たちが取り囲み、陣営を張って守られることをエリシャの預言者学校の僕は特別に目を開かれて知るに及んだ。

●目に見えない天使たちが登場するバージョンの私たちの人生DVDも将来見ることができたとするなら、私たちは必ず、今まで以上に神に対する感謝の思いで溢れるようになるであろう。

【今週の英語】 Adrian Rogers

**We ought to be living as if
Jesus died yesterday, rose this
morning, and is coming back
this afternoon.**

私たちはイエスがあたかも昨日亡くなり、今朝よみがえられ、午後には戻って来られるかのように、生きるべきである。

今年もマナをひとつ、よろしく
お願いします。
牧師／立石尚志

